

## 第31回 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会 報告

(平成27年11月13日 一橋大学一橋講堂 当番校:茨城大学遺伝子実験施設)

表記連絡協議会に参加しましたので簡単な報告をします。当日は、午前安全研修会(遺伝子組換え実験関係)が開催され、午後から総会が開催されました。配付資料が専任教員中川のところに保管されています。閲覧を希望される方は中川までお知らせ下さい。

### <安全研修会(午前)>

1. 電子申請システムについて、2. 名古屋大学における遺伝子組換え生物の第二種使用等に関する事故について、が取りあげられました。

既に電子申請を実施している、鳥取大学、富山大学、沖縄科学技術大学院大学、広島大学のシステムが紹介されました。電子申請システムにより、審査時間が短縮できること、書類が整理されて管理が明瞭になることが述べられました。各大学に合わせたシステムにするためのカスタマイズに時間と経費がかかること、サーバーやシステムの維持にも経費が必要であることが紹介されました。動物実験など、他申請との連携を行っている大学、現時点では行っていない大学がありました。大学等遺伝子協で電子申請システムを開発していくことについて今後検討していくことになりました。

平成27年5月頃に公表された、名古屋大学の遺伝子組換え植物(シロイヌナズナ)の漏出について、経緯および対応が説明されました。土壌試料をオートクレーブ滅菌する場合の含水率、缶内容積、処理時間の検討について実験データが示され、適切な処理条件が提案されました。また、遺伝子組換え実験安全教育の徹底、オートクレーブ装置などの定期点検、土を用いた組換え植物実験の不活性化処理マニュアルの作成が実施されていることが報告されました。

### <総会(午後)>

#### 1) 新規会員等の参加承認

正会員として国立研究開発法人 農業生物資源研究所、埼玉工業大学、大分大学、企業会委員として中外製薬株式会社、暫定会委員として早稲田大学、田辺三菱製薬株式会社の新規参加が承認されました。

## 2) 文部科学省施策説明

### ① カルタヘナ法について（研究振興局 ライフサイエンス課）

カルタヘナ法の説明、関連法（家畜伝染病予防法など）との関係、遺伝子組換え生物の不適切な取扱いの例、名古屋・クアラルンプール捕捉議定書についての説明が行われました。

### ② 学術研究を取り巻く動向-共同利用・共同研究体制の強化・充実について-（研究振興局 学術機関課）

共同利用・共同利用拠点制度について、1分野につき1拠点であったのが、分野の特性に応じて複数設置が可能に、ネットワーク型拠点形成も可能。運営費交付金の重点配分、新たな共同利用・共同研究体制の充実、設備サポートセンター整備事業、などの説明が行われました。

## 3) 事業報告

### ① 第7回遺伝子組換え実験安全研修会

電子申請システム、人工合成遺伝子、カルタヘナ法、CRISPR/Cas9システムを用いたマウスゲノム編集、ゲノム編集による植物育種と社会受容性が実施されたことが報告されました。

## 4) 委員会等報告

① 幹事会、② 広報委員会、③ 組換え生物等委員会、④ ゲノム編集ワーキンググループ、⑤ 電子申請システムワーキンググループ（アンケート報告）、⑥ 教育教材ワーキンググループ（初心者が実験を行うための教材、e-learning、理解度確認問題）、⑦ NGS ワーキンググループ（次世代シーケンサーに関するアンケート）、などが報告、議論されました。

## 5) 提案議題

### ① 企業内研究におけるカルタヘナ法関連課題と規制緩和に向けての取り組み

バキュロウイルスを利用した産物の取扱い、遺伝子組換え細胞を移植した動物の取扱いについて、検討結果や自主基準などについて紹介がありました。

### ② Mutagenic Chain Reaction の安全対策について

同技術を使用した遺伝子組換え実験に関する安全対策について提言、議論が

行われました。事前伺いの回答も紹介されました。今後ゲノム編集ワーキンググループなどで検討を進めることになりました。

③ 実験室の使用に関する注意点について

同じ実験室をいくつかの異なる拡散防止措置で共通に使用する場合や広い実験室の一部を遺伝子組換え実験室として使用する場合の注意点について提言が行われ、事前伺いの回答が紹介されました。

6) 決算報告

7) 事業計画、予算案について

8) 次回安全研修会について

第8回遺伝子組換え実験安全研修会は、2016年6月25日(土)、千里ライフサイエンスセンター サイエンスホール(大阪府豊中市新千里東町1-4-2)で開催の予定です。

9) 次期当番施設について

第32回(平成28年度)の当番校は、宇都宮大学になりました。

(中川記)